

陳 思勤  
知的基盤総合センター・教授

【研究】

今年度では、まず「電子商取引における知的財産保護と EC プラットフォームの責任 ― 中国「電子商取引法」を中心に―」をテーマとした論文を執筆し、阪大法学（第 73 巻第 1 号）に投稿した。

次に、中国重慶工商大学法学院において、「日本の意匠法における画像デザインの保護」をテーマとした報告を行った（2022 年 12 月 8 日（木曜）、オンラインにて）。

そして、2019 年度基盤研究 B「情報デザインとしての新しい保護体系への試み：画像デザインを題材として」の共同研究者として、シンガポール・香港を訪問し同分野の研究調査を行った。

ほかに、『知的財産関係条約』（有斐閣、2023 年出版予定）の原稿の一部の改訂作業等を行った。

【教育】

・今年度では、担当する講義「意匠法」、「不正競争防止法」及び「知的財産関係条約」の一部内容の更新や裁判例の追加などを行った。また、新たに担当する全学共通教育の講義「知的財産モラル」では、法学の基礎を有しない学生にも理解しやすくするために、レジュメの工夫や身近にある実例を用いて説明したり、講義の都度に授業に対する感想や質問を書かせて次回の講義に質問等を解説する時間を設けたり、授業内容の理解度アップに努めた。

・「総合演習（アジア知的財産法）」の中国法部分を担当し、中国法の改正などに合わせて一部内容の更新や裁判例の追加を行った。

・留学生のサポート役として、留学生の学習支援などを行った。

【管理運営】

・評価委員会の委員長として、部局の年度アクションプランに沿って、達成状況を確認し、評価書類を作成し、評価委員会による評価の資料にあてた。

・留学生教育委員会の委員長として、留学生に勉学・研究上のサポートを行った。

・広報委員会の委員長として、知的基盤総合センターホームページの更新にあたって、ホームページの見やすさや新設項目などについて各委員とメールや打合せなどで意見交換をした。

・中之島センター委員会の委員として、高等副プログラムを周知させるための説明会をオンラインにて計 3 回行った。

・2023 年 1 月から教務委員として教務関係の仕事に携わった。

**【社会貢献】**

中国重慶工商大学法学院において、「日本の意匠法における画像デザインの保護」をテーマとした公開講義を行った（2022年12月8日（木曜）、オンラインにて）。